

【高岡税務署長賞】

「税の大切さ」

富山県立高岡商業高等学校一年 浦田 悠生

税について考えると、まずその意味と目的を理解することが大切です。税金は、私たちが生活するための公共サービスを提供するために使われるお金です。私たちが支払う税金は、教育、医療、道路の整備など、社会全体に役立つことに使われています。

税金にはいくつかの種類があります。代表的なものには、所得税、消費税、法人税などがあります。所得税は、親たちが得た収入に対して支払う税金で、消費税は物やサービスを購入したときにかかる税金です。法人税は、企業が得た利益に対して課される税金です。

税金が私たちの生活にどう影響するか見てみましょう。たとえば、教育に使われる税金は、学校の建物を作ったり、教師の給与を支払ったりするため使われます。これにより、私たち、小、中学生、高校生は良い教育を受けることができます。また、医療に使われる税金は、病院の設備を整えたり、医師や看護師の給与を支払ったりするために使われ、私たちの健康を守るという役割も果たしていると私は考えます。

また、税金の使い道を見直すことも重要です。例えば、社会保障制度の改革や効率的な行政運営を通じて、税金がより効果的に利用されることが求められます。政府が無駄を省き、優先順位を明確にすることで、税金の使い方に対する信頼を高めることができます。市民としては、政府の行策や予算案について積極的に情報を収集し、意見を表明することで、より良い社会の実現に向けた取り組みをサポートすることができると思います。

しかし、税金に対する不満もあります。特に、自分が支払った税金がどのように使われているかが見えにくいと感じることがあります。また、税金が高いと感じる人もとても多いです。税金の使い道が適切であるかどうかは、政府の透明性や説明責任にかかっていると思います。

税金の使い方については、国民が関心を持ち、意見を述べるのが大切です。政府が税金を効率よく使い、私たちのニーズに応えることが求められます。納税者として、私たちも税金の使い道について関心を持ち、情報を得ることが重要だと思います。

まとめると、税金は私たちの社会を支えるために必要なものであり、その使い道が社会全体の福利に大きく影響します。それに私たちの生活を支える重要な資源であり、適切な使い道を求めることは社会全体の利益につながります。税金の重要性を理解し、適切に管理されることを期待することで、より良い社会を作ることができると思います。